

## 名前 \_\_\_\_\_

## 理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

## 担当より一言

今回は一年を通じての気温の変化について学びました。

一年の中で太陽の南中高度が最も高いのは夏至、最も低いのは冬至ですが、気温が最も高いのは8月上旬、最も低いのは2月上旬とずれています。前回勉強した、一日の中での気温の変化と同じ仕組みによることが理解できればよいでしょう。

また、太陽が高くのぼるほどあたたかくなることは経験上知っていると思いますが、なぜそうなるのかについては、今回はじめてわかったという人も多いと思います。理科では新たな知識を学ぶだけでなく、普段当たり前に思っていることの根拠も考えます。日頃からそのような疑問をもち、じっくり考えてみる習慣を養ってほしいと思います。

衛星写真は、雲の形と四季それぞれの天気の特徴が対応づけられるようになる事が目標です。暗記するだけでなく、写真から何が読み取れ、各季節のどのような特徴と関連しているのかを理解することが大切です。

**社会**

**基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。**

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

**応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

**発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。**

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回は、「香川・高知」について学びました。同じ四国地方で、距離もそれほど離れていないのに、今回もようすがずいぶんと違いましたね。今回のポイントは気候です。

これまでの授業で、季節風と海流、山地・山脈が、雨や雪を降らせる要因になっていることを学びました。今回は夏と冬の両方の季節風が出てきたので、難しく感じた人がいるかもしれませんが、考え方は同じです。

夏の南東の季節風をさえぎる四国山地。だから、太平洋側は夏の降水量が多いけど、瀬戸内海沿岸は少ない。冬の北西の季節風をさえぎる中国山地。だから、日本海側は冬の降水量が多いけど、瀬戸内海沿岸は少ない。結果的に、瀬戸内海沿岸は一年中降水量が少ない地域となるのです。地域を対比させることで、その違いがよく見えてきますね。

人びとはこういった気候に合わせて、農業を行ってきました。  
今回学んだ、高知県の促成栽培や香川県の小麦の生産はその一例と言えます。

次回以降も、気候と産業のつながりが出てくるので、そこがどんな気候で、どんな産業を行っているかのつながりに、引き続き目を向けていきましょう。